

実践！アクティブラーニングで学ぶ 漢方医学教育

鹿児島大学における漢方医学教育の実際にふれる！

講師 鹿児島大学地域医療学分野 准教授

網谷真理恵 博士

日時 2025年3月28日 16:45～

会場 臨床大講義室

全国的に医学教育の質の向上が求められる中、漢方医学教育も標準化したカリキュラムを医学教育の理論を応用しながら構築することが必要とされている。現在の日本のすべての82の医学部/医科大学において漢方医学教育は実施されている。しかし、大学間での漢方医学教育の差は大きく、特に指導者不足は漢方専門講座のない大学で直面している課題である。

鹿児島大学には常勤の漢方専門医は在籍しておらず、近年になり非常勤での漢方指導医、専門医が在籍するようになったが、漢方医学の授業を始めたころには指導者不足が大きな問題であった。医一歯学教員、薬剤師と連携しながらカリキュラムを構築する過程で、「教える」教育から「学生が学ぶ」アウトカム基盤型教育へ転換し、アクティブラーニングを中心とした教育方略を開発してきた。

現在鹿児島大学では、PBLを軸に、生薬カードワーク、生薬試飲体験、舌診ワーク、シミュレーターを用いた漢方学的腹診など、複数の方略を組み合わせカリキュラムを構築している。また、漢方OSCE、模擬患者養成、ロールプレイモデルを開発しトライアルを実施している。

本講演においては、これまでの漢方教育の変遷とともに、漢方カリキュラムの実践例について紹介する。

問い合わせ先：医学部感染予防医学講座 小林 隆志 内線 5702